

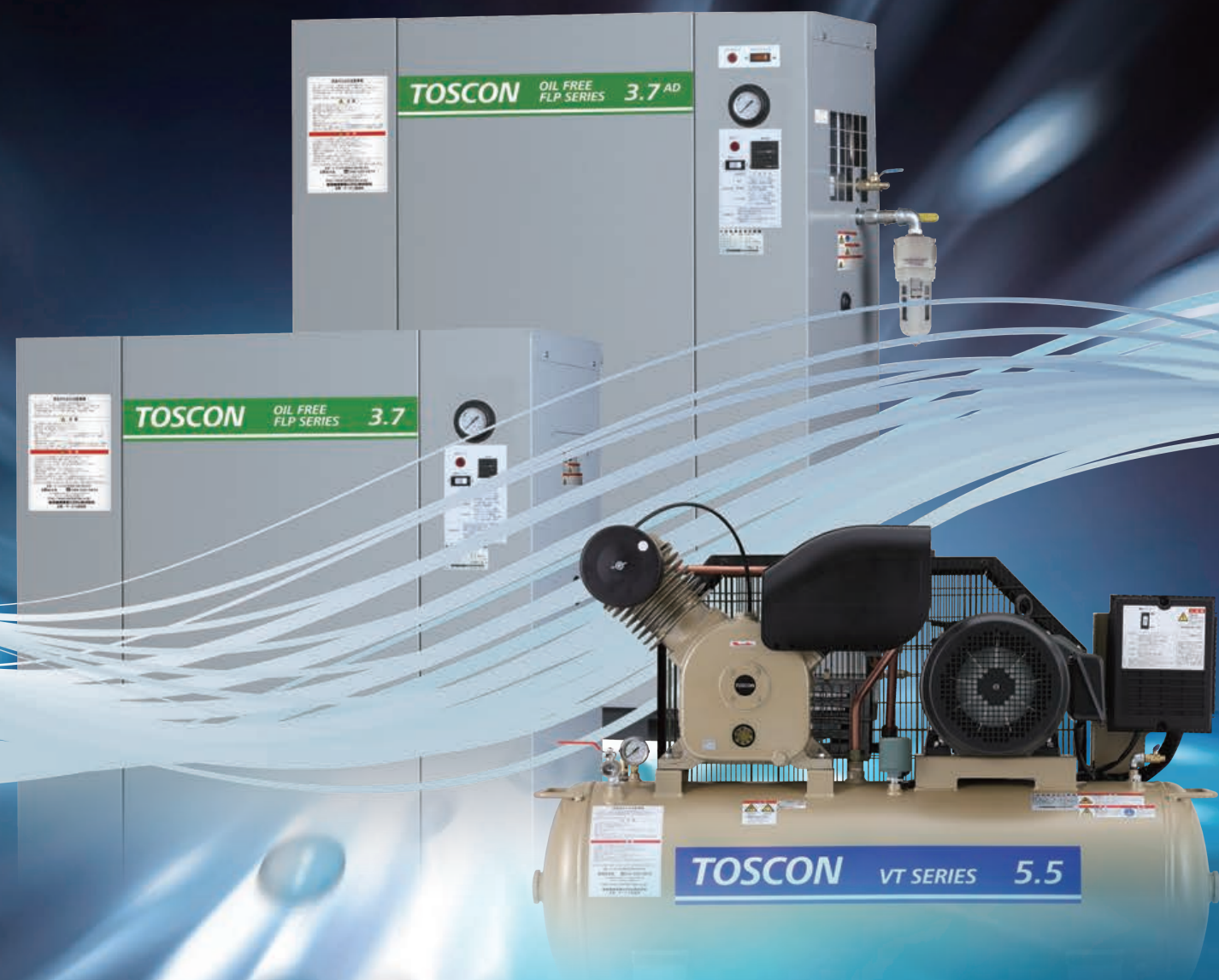
東芝産業機器システム株式会社
Toshiba Industrial Products and Systems Corporation

エアコンプレッサ **TOSCON**



信頼と実績 ものづくりの現場を支える

“TOSCON”



TOSCON

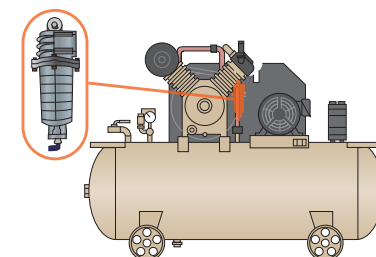
ー IE3効率のトップランナーモータを搭載(0.75kW以上)

従来のモータに比べて効率が高いトップランナーモータ(以降 IE3モータ)を搭載しています。
エネルギー消費量の抑制により環境保護に貢献します。



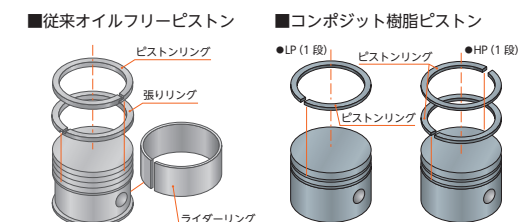
ー 中間水分離器付き

給油式の圧力1.4MPaの機種には、中間水分離器を標準装備しています。
間欠運転でご使用される用途等、潤滑油への水分混入による白濁を抑制します。



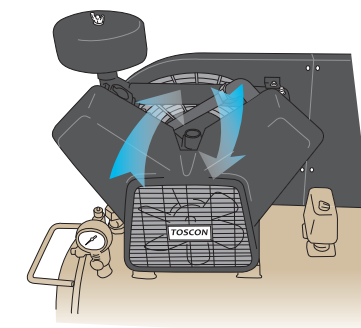
ー 樹脂ピストン

無給油式の全機種において樹脂製のピストン及び圧力リングを使用しています。耐熱性・耐摩耗性に優れたコンポジット樹脂製ピストンとフッ素系樹脂製圧力リングによりピストンとシリンダの摩耗による焼き付きやカジリの心配は不要で且つ耐久性に優れています。



ー ダブル通風(無給油式2.2kW以上の機種)

圧縮機本体正面のファンと背面のプーリの双方で圧縮機を冷却します。
前後からの通風によって圧縮機の冷却効果UPを図ります。



ー 時間計標準装備

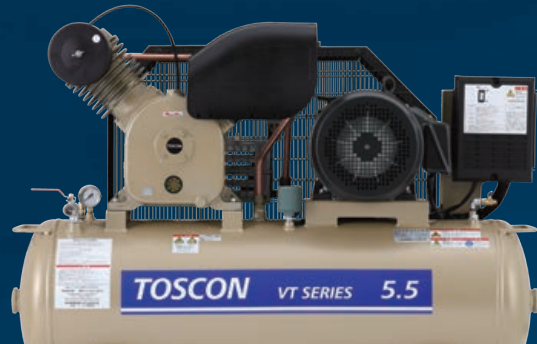
タンクマウントシリーズ・無給油式3.7～11kWは時間計を標準装備します。



TOSCON 静音シリーズ Silent Series

FP
形

FLP
形



TOSCON タンクマウントシリーズ Tank mount Series

VT
形

VLT
形

機種構成一覧表

機種		静音シリーズ						タンクマウントシリーズ					
		給油式 				無給油式 		給油式		無給油式			
		低圧		中圧		低圧		低圧	中圧	低圧			
		コンプレッサ 単体型	冷凍式エア ドライヤ 内蔵型	コンプレッサ 単体型	冷凍式エア ドライヤ 内蔵型	コンプレッサ 単体型	冷凍式エア ドライヤ 内蔵型						
掲載頁	P.6	P.7	P.6	P.7	P.8		P.9		P.10				
kW	0.2								圧力開閉器式				
0.4													
0.75													
1.5	圧力開閉器式	圧力開閉器式	圧力開閉器式	圧力開閉器式	圧力開閉器式	圧力開閉器式	圧力開閉器式	圧力開閉器式					
2.2													
3.7													
5.5													
7.5													
11					※	※							

※ 11kWのみ圧力開閉器式とアンローダ式をスイッチにて選択できます。

標準仕様

共通仕様	電源……………三相 200V (50/60Hz)		
圧縮機	圧縮方式……………往復動式	周囲条件	温度……………2~40℃
	取扱ガス……………空気		湿度……………10~80%
	モータ始動方式…直入れ		設置場所…………屋内

機種選定

01 圧縮空気の種類の確認

使用用途を確認して、圧縮空気の種類を選定してください。
給油式コンプレッサ……………一般産業用機械のエア源に適しています。(圧縮空気には油分が含まれています。)
無給油式コンプレッサ…食品機械、包装機械、医療機械、製本業、印刷業などの油分を嫌う用途に最適です。

⚠ 給油式及び無給油式コンプレッサいずれの場合も用途に適したフィルタ、エアドライヤ、減圧弁などを組み合わせてご使用ください。

02 圧力の確認

機械・機器の常用圧力(MPaメガパスカル)を確認してください。
常用圧力に対して、本カタログの標準定格使用表の復帰圧力が0.2MPa程度高い値としてください。

⚠ 配管の長さ・太さにより圧力降下が発生します。

MPa

- ・圧力を示す単位です。平成11年10月1日新計量法の実施によりSI単位であるMPa単一表示となりました。
- ・カタログについてもMPa単一表示とします。

圧力換算表

kgf/cm ²	4	5	6	7	8	8.5	9	9.9	10	14
MPa	0.39	0.49	0.59	0.69	0.78	0.83	0.88	0.97	0.98	1.37

03 使用空気量の確認

機械・機器の使用空気量(L/min リットル毎分)を確認してください。
使用空気量より10%以上余裕のある吐出し空気量のコンプレッサを選定してください。
エアシリンダ、ノズル(エアガンなど)の場合の空気量計算方法は15ページをご参照ください。

- ⚠ (1) 空気量は大気圧換算で1分間当りの値です。
(2) NL/min(ノルマルリットル毎分)は、学術的標準状態で、温度0℃、大気圧時の値を示し、L/minより、約7%減少します。
(3) 給油式コンプレッサで使用空気量が極端に少ない場合、コンプレッサ内の圧縮空気中の水分が結露し、クランクケース内の潤滑油と混ざり白く濁ることがあります。その場合は中間水分離器キット(オプション)をご使用ください。(中圧タイプの機種は、標準装備です。)

04 モータの出力選定

標準定格仕様表の復帰圧力および吐出し空気量よりモータの定格出力(kW)を選定してください。

05 制御方式の選定

エアコンプレッサの圧力制御方式を選定してください。
圧力開閉器式……………断続的な作業をする場合、また使用空気量が少ない場合(停止時間が比較的長い)に適しています。
圧力開閉器により、エアコンプレッサは運転・停止を繰り返して、タンク圧力を制御します。
自動アンローダ式…連続的に常時多量の空気量を必要とする場合に適しています。
自動アンローダ弁により、圧縮運転と空運転を自動的に繰り返します。

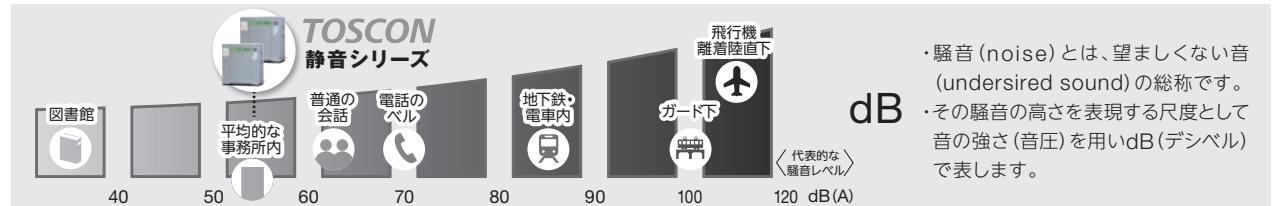
⚠ 圧力開閉器式において起動頻度が1分間を下回る場合は自動アンローダ式を選定してください。
(静音シリーズ無給油式11kWのみ圧力開閉器式と自動アンローダ式をスイッチにて選択できます。)

06 電源の確認

電源の電圧、相数、周波数を確認してください。標準以外の電圧については受注生産で対応します。

07 騒音について

次の表より騒音レベルを推定してください。低騒音対応に静音シリーズが適しています。



08 圧縮空気中の水分について

機械・機器で乾燥した空気が必要か確認してください。静音シリーズの冷凍式エアドライヤ内蔵型は、圧力下露点15℃の圧縮空気を供給いたします。

露点

- ・一定の空気圧力で温度を下げてゆくと、空気中に含まれている水蒸気は飽和状態となり、凝縮し水滴になり始める温度を示します。
- ・露点には大気圧露点と圧力下露点があり、前者は大気圧下、後者は圧力下の凝縮温度を示します。

※別置型冷凍式エアドライヤは、圧力下露点10℃の圧縮空気を供給いたします。

09 関連機器の選定について

ご要望により関連機器(補助タンク、冷凍式エアドライヤ、フィルタ、減圧弁など)の選定を行ってください。
11頁~13頁を参照してください。

給油式

FP
形

【コンプレッサ単体型】



- ◆低騒音対応のパッケージタイプです。
- ◆IE3 モータを搭載しています。
- ◆全閉外扇形モータを搭載しており、粉塵や湿気に対する耐性を向上しています。
- ◆中圧タイプ（1.4MPa）の機種は、オイルの白濁を防ぐ中間水分離器を標準装備しています。
（低圧タイプ（0.85MPa）の機種でオイルの白濁が懸念される場合は、中間水分離器キットの取付けをご検討ください。）
- ◆給油式パッケージタイプ全機種にオイルアラームを標準装備しています。

給油式

FP
形

【冷凍式エアドライヤ内蔵型】



- ◆低騒音対応のパッケージタイプです。
- ◆IE3 モータを搭載しています。
- ◆全閉外扇形モータを搭載しており、粉塵や湿気に対する耐性を向上しています。
- ◆中圧タイプ（1.4MPa）の機種は、オイルの白濁を防ぐ中間水分離器を標準装備しています。
（低圧タイプ（0.85MPa）の機種でオイルの白濁が懸念される場合は、中間水分離器キットの取付けをご検討ください。）
- ◆給油式パッケージタイプ全機種にオイルアラームを標準装備しています。

機種及び標準定格仕様

低圧 (0.85MPa)	運転 制御 方式	モータ 定格出力 (kW)	電 源	形式	復帰圧力 ～作動圧力 (MPa)	吐出し 空気量 (L/min)	空気タンク 容積 (L)	空気取出口	中間 水分離器	オイル アラーム	外形寸法 幅×奥行×高さ (mm)	概略 質量 (kg)	騒音レベル (正面 1.5m) dB (A)
		相数	電圧 (V)	周波数 (Hz)									
	圧力 開閉器式	1.5	三相	200	0.7～0.85	170	25	G1/4 ボール バルブオス×1	なし	標準 装備	695×585×840	100	53
		2.2				295	39	Rc3/8 ボール バルブメス×1			900×660×985	148	50
		3.7				415	70	Rc3/4 ボール バルブメス×1			1175×750×1100	275	55
		5.5				605	75				1235×875×1100	330	58
		7.5				845					1235×925×1100	375	58
		11				1215							
中圧 (1.4MPa)	運転 制御 方式	モータ 定格出力 (kW)	電 源	形式	復帰圧力 ～作動圧力 (MPa)	吐出し 空気量 (L/min)	空気タンク 容積 (L)	空気取出口	中間 水分離器	オイル アラーム	外形寸法 幅×奥行×高さ (mm)	概略 質量 (kg)	騒音レベル (正面 1.5m) dB (A)
		相数	電圧 (V)	周波数 (Hz)									
	圧力 開閉器式	2.2	三相	200	1.15～1.4	235	39	Rc3/8 ボール バルブメス×1	標準 装備	標準 装備	900×660×985	156	51
		3.7				390	70	Rc3/4 ボール バルブメス×1			1175×750×1100	278	56
		5.5				570					1235×875×1100	333	59
		7.5				740					1235×925×1100	378	59
		11				1075							

- 吐出空気量は、工場出荷時における最高吐出圧力時に吐き出す空気量を吸込み状態（大気圧）に換算した平均値です。（保証値は別途お問合せください。）
- 復帰圧力、作動圧力は制御機器によって繰り返し運転される圧力範囲を表しています。
- 騒音値は全負荷時、無音音室での測定に換算した値です。（設置環境により値は変わります。）
- 各寸法はボールバルブ等の突起物は含みません。
- 本製品の付属品（製品内部に同封しています。）：(A) 第二種圧力容器明細書・タンク寸法図（タンク容量 40L 以上の機種に添付）1 部、(B) 取扱説明書 1 部、(C) モータ取扱説明書 1 部、(D) 防振用ゴムマット 4 枚、(E) 穴カバー 4 枚（2.2／3.7kW の機種）・2 枚（2.2／3.7kW を除く機種）、(F) 排水パイプ 1 本（3.7kW 以下の機種）(G) スナップバンド 1 本、(H) ボールバルブ 1 個（5.5kW 以上）、(I) バレルニップル 1 個（5.5kW 以上）、(J) 付属品取付要領書 1 部（5.5kW 以上の機種）
- 巻末の「安全上のご注意」も併せてご参照ください。
- 使用用途によっては補助タンクが必要となりますのでご注意ください。その際、エアコンプレッサと補助タンクの接続口径を必ずご確認ください。

機種及び標準定格仕様

低圧 (0.85MPa)	運転 制御 方式	モータ 定格出力 (kW)	電 源	形式	復帰圧力 ～作動圧力 (MPa)	吐出し 空気量 (L/min)	空気タンク 容積 (L)	空気取出口	中間 水分離器	オイル アラーム	ドライヤ 出口空気 露点 (C) 冷媒	外形寸法 幅×奥行×高さ (mm)	概略 質量 (kg)	騒音レベル (正面 1.5m) dB (A)
		相数	電圧 (V)	周波数 (Hz)										
	圧力 開閉器式	1.5	三相	200	0.7～0.85	170	25	G1/4 ボール バルブオス×1	なし	標準 装備	15 以下 HFC 134a	695×585×1000	120	53
		2.2				295	39	Rc3/8 ボール バルブメス×1				900×660×1120	168	51
		3.7				415	70	Rc3/4 ボール バルブメス×1				900×660×1200	197	53
		5.5				605						1180×750×1530	345	55
		7.5				845						1240×875×1480	405	58
		11				1215						1240×925×1480	450	58
中圧 (1.4MPa)	運転 制御 方式	モータ 定格出力 (kW)	電 源	形式	復帰圧力 ～作動圧力 (MPa)	吐出し 空気量 (L/min)	空気タンク 容積 (L)	空気取出口	中間 水分離器	オイル アラーム	ドライヤ 出口空気 露点 (C) 冷媒	外形寸法 幅×奥行×高さ (mm)	概略 質量 (kg)	騒音レベル (正面 1.5m) dB (A)
		相数	電圧 (V)	周波数 (Hz)										
	圧力 開閉器式	2.2	三相	200	1.15～1.4	235	39	Rc3/8 ボール バルブメス×1	標準 装備	標準 装備	15 以下 HFC 134a	900×660×1200	186	51
		3.7				390	70	Rc3/4 ボール バルブメス×1				1180×750×1530	348	56
		5.5				570						1240×875×1480	408	59
		7.5				740						1240×925×1480	453	59
		11				1075								

- 吐出空気量は、工場出荷時における最高吐出圧力時に吐き出す空気量を吸込み状態（大気圧）に換算した平均値です。（保証値は別途お問合せください。）
- 復帰圧力、作動圧力は制御機器によって繰り返し運転される圧力範囲を表しています。
- エアドライヤ出口空気露点は周囲温度 30℃における温度です。周囲温度 2～40℃でご利用ください。
- 騒音値は全負荷時、無音音室での測定に換算した値です。（設置環境により値は変わります。）
- エアドライヤ運転時の騒音値は表より最大約 2dB (A) 増加します。
- ドライヤ運転スイッチ横にあるドライヤ警報ランプ点灯時は、エアドライヤのみが停止します。一度コンプレッサ運転スイッチ及びドライヤ運転スイッチを停止側に押し、3分以上待ってから運転方法に従って操作してください。重要設備にご使用の場合は予備機やそれに替わる装置をご用意ください。
- 各寸法はボールバルブ等の突起物は含みません。
- 本製品の付属品（製品内部に同封しています。）：(A) 第二種圧力容器明細書・タンク寸法図（タンク容量 40L 以上の機種に添付）1 部、(B) 取扱説明書 1 部、(C) モータ取扱説明書 1 部、(D) 防振用ゴムマット 4 枚、(E) 穴カバー 4 枚（2.2／3.7kW の機種）・2 枚（2.2／3.7kW を除く機種）、(F) 排水パイプ 1 本（3.7kW 以下の機種）(G) スナップバンド 1 本（1.5～3.7kW の機種）・2 本（5.5kW 以上の機種）、(H) オートドレンナ 1 個、(I) オートドレンナ排水パイプ 1 本、(J) ロングニップル 1 本（5.5kW 以上）、(K) エルボ 1 個（0.85MPa／3.7kW 以下の機種）、(L) 付属品取付要領書 1 部
- 巻末の「安全上のご注意」も併せてご参照ください。
- 使用用途によっては補助タンクが必要となりますのでご注意ください。その際、エアコンプレッサと補助タンクの接続口径を必ずご確認ください。

無給油式

FLP
形

[冷凍式エアドライヤ内蔵型
コンプレッサ単体型]



FLP85-15T



FLP85-37T



FLP85-110T



FLP85-7TAD



FLP85-15TAD



FLP85-37TAD

- ◆低騒音対応のパッケージタイプです。
- ◆IE3 モータを搭載しています。
- ◆クリーンなエアを供給する無給油式です。潤滑油を使用しないため、日常のオイル管理が不要です。
- ◆耐久性に優れたコンポジット樹脂ピストンの採用で、焼き付きやカジリの心配もありません。
- ◆全開外扇形モータを搭載しており、粉塵や湿気に対する耐性を向上しています。
- ◆3.7kW 以上の機種には、時間計を標準装備しているため、メンテナンス時間の把握に役立ちます。

給油式

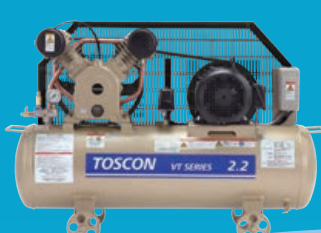
VT
形



VT105-7T



VT105-15T



VT105-22T



VT105-37T



VT105-55T



VT105-75T



VT105-110T



VT145-55T



VT145-110T

- ◆IE3 モータを搭載しています。
- ◆全開外扇形モータを搭載しており、粉塵や湿気に対する耐性を向上しています。
- ◆中圧タイプ（1.4MPa）の機種は、オイルの白濁を防ぐ中間水分離器を標準装備しています。
（低圧タイプ（1.0MPa）の機種でオイルの白濁が懸念される場合は、中間水分離器キットの取付けをご確認ください。）

機種及び標準定格仕様

低圧（0.85MPa）	運転 制御 方式	モータ 定格出力 (kW)	電 源			形式	復帰圧力 ～作動圧力 (MPa)	吐出し 空気量 (L/min)	空気タンク 容積 (L)	空気取出口	時間計	外形寸法 幅×奥行×高さ (mm)	概略 質量 (kg)	騒音レベル (正面 1.5m) dB (A)									
			三相	電圧 (V)	周波数 (Hz)																		
															50	FLP85-7T	80	25	G1/4 ボールバルブオス×1	なし	625×540×760	71	55
															60	FLP86-7T					695×585×840	90	58
															50	FLP85-15T	160	39	Rc3/8 ボールバルブメス×1	標準 装備	900×660×985	145	56
															60	FLP86-15T					1175×750×1100	260	59
															50	FLP85-22T	260	70	Rc3/4 ボールバルブメス×1	1235×875×1100	305		
															60	FLP86-22T				1235×925×1100	350	62	
															50	FLP85-37T	375						
															60	FLP86-37T							
50	FLP85-55T	565																					
60	FLP86-55T																						
50	FLP85-75T	825																					
60	FLP86-75T																						
※ 11	50	FLP85-110T	1140	75																			
60	FLP86-110T																						

低圧（0.85MPa）	運転 制御 方式	モータ 定格出力 (kW)	電 源			形式	復帰圧力 ～作動圧力 (MPa)	吐出し 空気量 (L/min)	空気タンク 容積 (L)	空気取出口	時間計	ドライヤ		外形寸法 幅×奥行×高さ (mm)	概略 質量 (kg)	騒音レベル (正面 1.5m) dB (A)											
			三相	電圧 (V)	周波数 (Hz)							出口空気 露点 (℃)	冷媒														
																	50	FLP85-7TAD	70	25	G1/4 ボール バルブオス×1	なし	なし メンレシ	625×540×760	73	55	
																	60	FLP86-7TAD						695×585×1000	110	58	
																	50	FLP85-15TAD	160	39	Rc3/8 ボール バルブメス×1	標準 装備	15 以下	HFC134a	900×660×1120	160	56
																	60	FLP86-15TAD							900×660×1200	182	
																	50	FLP85-22TAD	260	70	Rc3/4 ボール バルブメス×1	1180×750×1530	330	59			
																	60	FLP86-22TAD				1240×875×1480	380				
																	50	FLP85-37TAD	375								
																	60	FLP86-37TAD									
50	FLP85-55TAD	565																									
60	FLP86-55TAD																										
50	FLP85-75TAD	825																									
60	FLP86-75TAD																										
※ 11	50	FLP85-110TAD	1140	75																							
60	FLP86-110TAD																										

1. 吐出空気量は、工場出荷時における最高吐出圧力時に吐き出す空気量を吸込み状態（大気圧）に換算した平均値です。（保証値は別途お問合せください。）
2. 復帰圧力、作動圧力は制御機器によって繰り返し運転される圧力範囲を表しています。
3. エアドライヤ出口空気露点は周囲温度 30℃における温度です。周囲温度 2～40℃でご使用ください。
4. 騒音値は全負荷時、無音室での測定に換算した値です。（設置環境により値は変わります。）
5. エアドライヤ運転時の騒音値は表より最大約 2dB (A) 増加します。
6. ドライヤ運転スイッチ横にあるドライヤ警報ランプ点灯時は、エアドライヤのみが停止します。一度コンプレッサ運転スイッチ及びドライヤ運転スイッチを停止側に押し、3分以上待つてから運転方法に従って操作してください。重要設備にご使用の場合は予備機やそれに替わる装置をご用意ください。
7. 各寸法はボールバルブ等の突起物は含まれません。
8. 無給油式は潤滑油を使用しない為、リング、ピストン、ベアリングなどの消耗品を機種ごとの指定時間または期間で必ず交換を行って下さい。
9. 本製品の付属品（製品内部に同封しています。）：(A) 第二種圧力容器明細書・タンク寸法図（タンク容量 40L 以上の機種に添付）1 部、(B) 取扱説明書 1 部、(C) モータ取扱説明書 1 部、(D) 防振用ゴムマット 4 枚、(E) 穴カバー 4 枚（5.5kW の機種）2 枚（5.5kW を除く機種）、(F) 排水パイプ 1 本（3.7kW 以下の機種）、(G) スナップバンド 1 本（エアドライヤなし 1.5kW 以上の機種/エアドライヤ付 1.5～3.7kW の機種）2 本（エアドライヤ付 5.5kW 以上の機種）、(H) ボールバルブ 1 個（エアドライヤなし 5.5kW 以上の機種）、(I) バレルニップル 1 個（エアドライヤなし 5.5kW 以上の機種）、(J) オートドレン 1 個（エアドライヤ付 1.5kW 以上の機種）、(K) オートドレン排水パイプ 1 本（エアドライヤ付 1.5kW 以上の機種）、(L) ロングニップル 1 本（エアドライヤ付 5.5kW 以上の機種）、(M) エルボ 1 個（エアドライヤ付 1.5～3.7kW の機種）(N) 付属品取付要領書 1 部（エアドライヤ付全機種/エアドライヤなし 5.5kW 以上の機種）
10. 巻末の「安全上のご注意」も併せてご参照ください。
11. 使用用途によっては補助タンクが必要となりますのでご注意ください。その際、エアコンプレッサと補助タンクの接続口径を必ずご確認ください。
※ 11kW は圧力開閉器式とアンローダ式をスイッチにて選択できます。

機種及び標準定格仕様

低圧 (1.0MPa)	運転 制御 方式	モータ 定格出力 (kW)	電 源			形式	復帰圧力 ～作動圧力 (MPa)	吐出し 空気量 (L/min)	空気タンク 容積 (L)	空気取出口	中間 水分離器	外形寸法 幅×奥行×高さ (mm)	概略 質量 (kg)	騒音レベル (正面 1.5m) dB (A)
			相数	電圧 (V)	周波数 (Hz)									
	圧力開閉器式	0.75				三相	200	50	VT105-7T	0.8～1.0	75	39	G1/4 ボールバルブオス× 1	775×350×690
			60	VT106-7T										
		1.5	50	VT105-15T	170			65	G1/4 ボールバルブオス× 2		940×380×830	80	69	
			60	VT106-15T										
		2.2	50	VT105-22T	255			75	G1/4 ボールバルブオス× 1		1150×425×770	115		
			60	VT106-22T										
		3.7	50	VT105-37T	400			100	Rc3/8 ボールバルブメス× 1 G1/4 ボールバルブオス× 1		なし	1400×430×835	154	72
			60	VT106-37T										
		5.5	50	VT105-55T	630			155	Rc3/4 ボールバルブメス× 1 G1/4 ボールバルブオス× 1		1335×578×1000	231	71	
			60	VT106-55T										
		7.5	50	VT105-75T	855			180	Rc3/4 ボールバルブメス× 1 G1/4 ボールバルブオス× 1		1535×590×1090	287	73	
			60	VT106-75T										
11		50	VT105-110T	1285	200				1685×640×1100		335	76		
		60	VT106-110T											

中圧 (1.4MPa)	運転 制御 方式	モータ 定格出力 (kW)	電 源			形式	復帰圧力 ～作動圧力 (MPa)	吐出し 空気量 (L/min)	空気タンク 容積 (L)	空気取出口	中間 水分離器	外形寸法 幅×奥行×高さ (mm)	概略 質量 (kg)	騒音レベル (正面 1.5m) dB (A)
			相数	電圧 (V)	周波数 (Hz)									
	圧力開閉器式	2.2				三相	200	50	VT145-22T	1.15～1.4	235	155	Rc3/4 ボールバルブメス× 1 G1/4 ボールバルブオス× 1	標準 装備
			60	VT146-22T										
		3.7	50	VT145-37T	390			180	1535×505×930		187	71		
			60	VT146-37T										
		5.5	50	VT145-55T	590			755	1535×580×1000		246	72		
			60	VT146-55T										
		7.5	50	VT145-75T	1125			200	1535×590×1090		289	74		
			60	VT146-75T										
			50	VT145-110T					1685×640×1100		340	77		
			60	VT146-110T										

無給油式

VLT
形



VLT105-7T



VLT105-15T



VLT105-22T



VLT105-37T



VLT105-55T

- ◆IE3 モータを搭載しています。(0.75kW 以上)
- ◆クリーンなエアを供給する無給油式です。潤滑油を使用しないため、日常のオイル管理が不要です。
- ◆耐久性に優れたコンボジット樹脂ピストンの採用で、焼き付きやカジリの心配もありません。
- ◆全閉外扇形モータを搭載しており、粉塵や湿気に対する耐性を向上しています。
- ◆3.7kW 以上の機種には、時間計を標準装備しているため、メンテナンス時間の把握に役立ちます。

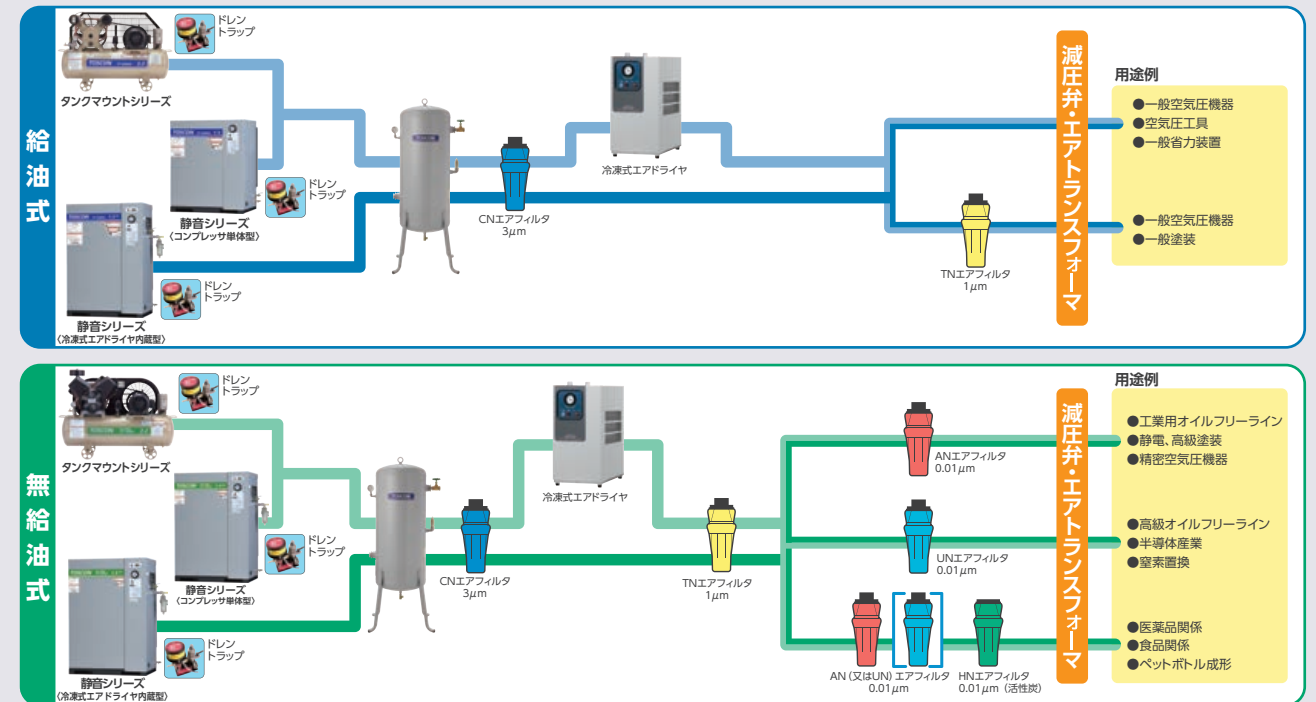
機種及び標準定格仕様

低圧 (1.0MPa)	運転 制御 方式	モータ 定格出力 (kW)	電 源			形式	復帰圧力 ～作動圧力 (MPa)	吐出し 空気量 (L/min)	空気タンク 容積 (L)	空気取出口	時間計	外形寸法 幅×奥行×高さ (mm)	概略 質量 (kg)	騒音レベル (正面 1.5m) dB (A)
			相数	電圧 (V)	周波数 (Hz)									
圧力開閉器式		0.2	三相	200	50/60	VLT8D-2T	0.6 ~ 0.8	21/25	22	G1/4 ボールバルブオス×1	なし	565×250×530	22	55/58
		0.4			VLT8D-4T	37/45		24					59/61	
		0.75			50	VLT105-7T	75	50	G1/4 ボールバルブオス×1	800×375×710		53	74	
					60	VLT106-7T								
		1.5			50	VLT105-15T	160	65		940×380×830		75		
					60	VLT106-15T								
		2.2			50	VLT105-22T	235	75	1150×425×875	98		78		
					60	VLT106-22T								
		3.7			50	VLT105-37T	370	100	Rc3/8 ボールバルブメス×1	1400×430×940			127	79
					60	VLT106-37T								
		5.5			50	VLT105-55T	580	155	Rc3/4 ボールバルブメス×1 G1/4 プラグ×1	標準 装備	1335×575×1080	200		
					60	VLT106-55T								
		7.5			50	VLT105-75T	825	180			1535×585×1070	244		
					60	VLT106-75T								
		11			50	VLT105-110T	1200	200			1685×640×1075	290	82	
					60	VLT106-110T								

1. 吐出空気量は、工場出荷時における最高吐出圧力時に吐き出す空気量を吸込み状態 (大気圧) に換算した平均値です。(保証値は別途お問合せください。)
2. 復帰圧力、作動圧力は制御機器によって繰り返し運転される圧力範囲を表しています。
3. 騒音値は全負荷時、無音室での測定に換算した値です。(設置環境により値は変わります。)
4. 0.2 ～ 0.75kW のみ電源コード 2m 付きです。
5. 0.75Kw はモータ保護装置を搭載しておりません。お客様にてモータブレーカーを外部に設置してください。
6. 車輪の固定は行わないでください。固定設置が必要な場合は、静音シリーズまたは定置式 (受注生産対応) をご使用ください。
7. 無給油式は潤滑油を使用しない為、リング、ピストン、ベアリングなどの消耗部品を機種ごとの指定時間または期間で必ず交換を行ってください。
8. 各寸法はボールバルブ等の突起物は含まれません。
9. 本製品の付属品：第二種圧力容器明細書・タンク寸法図 (タンク容量 40L 以上の機種に添付) 1部、取扱説明書 1部、モータ取扱説明書 (0.75kW 以上の機種) 1部
10. 巻末の「安全上のご注意」も併せてご参照ください。

エアクリーニングシステム

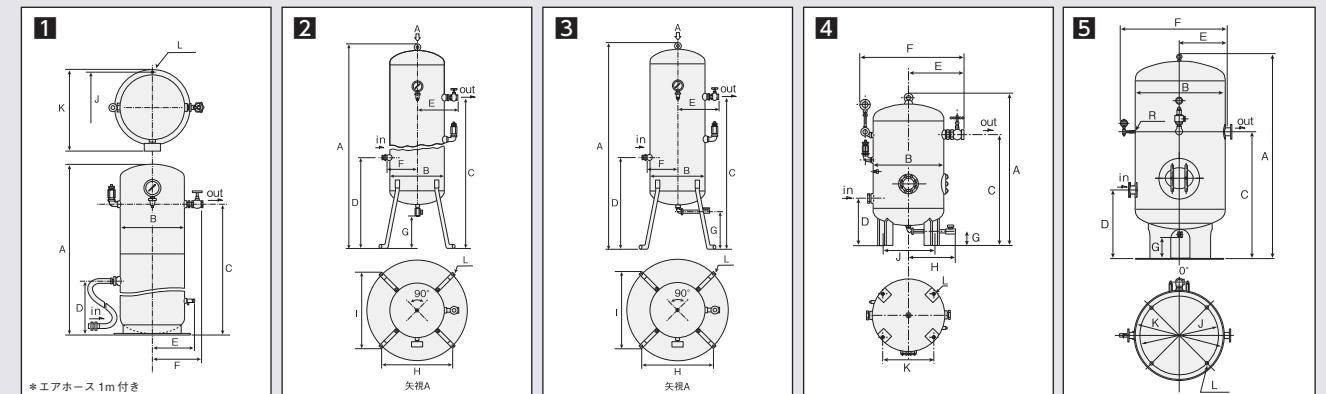
関連機器を組み合わせ、用途に最適なエアシステムを選択してください。



補助タンク

エアコンプレッサとセットでご使用になりますと、モータや圧力制御機器の寿命を延ばします。
また、高温の圧縮空気の温度を下げる効果もありますのでエアドライヤーと組み合わせた場合、除湿効果が高まります。

図 番 号	形 式	全容量 (L)	最高圧力 (MPa)	外形寸法												空気入口 接続口径取付ねじ	空気出口 接続口径取付ねじ	ドレン弁	概略 質量 (kg)
				A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L				
1	TST-36L	36	1.0	640	φ286	506	233	189	230	-	-	-	φ284	350	4-φ9	1/2×3/8プッシュ付	Rc3/8ストップバルブ	φ8 竹の子	20
2	TST-60L	60		1200	φ310	945	595	250	170	200	423	460	-	-	4-φ10	1 1/2×3/8プッシュ付	Rc3/4ストップバルブ	φ1 1/2	30
3	TST-120L	120		1370	φ410	1115	565	320	220	190	476	525	-	-	4-φ10	2×1 1/2プッシュ付	Rc1 1/2ストップバルブ	φ2	60
4	TST-220L	220		1800	φ459	1323	625	365	245	225	516	557	-	-	4-φ10	2×1 1/2プッシュ付	Rc1 1/2ストップバルブ	φ2 1/2	95
5	TST-400L	400	0.85	1715	φ612	1320	430	460	830	85	365	-	φ800	φ900	4-φ23	Rp2 1/2ソケット	Rp2 1/2ソケット	φ2 1/2	175
6	TST-600L	600		1710	φ762	1240	370	540	1010	-	-	-	φ800	φ900	4-φ23	Rp2 1/2ソケット	Rp2 1/2ソケット	φ2 1/2	217
7	TST-1000L	1000		2083	φ918	1300	700	479	1090	215	-	-	φ800	φ900	4-φ23	Rp2 1/2ソケット	Rp2 1/2ソケット	φ2 1/2	450
8	TST-1000LS	1000		2083	φ918	1300	700	479	1090	215	-	-	φ800	φ900	4-φ23	Rp2 1/2ソケット	Rp2 1/2ソケット	φ2 1/2	450
9	TST-120M	120	1.4	1370	φ410	1115	565	320	220	190	476	525	-	-	4-φ10	1 1/2×3/8プッシュ付	Rc3/8ストップバルブ	φ1 1/2	60
10	TST-220M	220		1800	φ459	1323	625	365	245	225	516	557	-	-	4-φ10	2×1 1/2プッシュ付	Rc1 1/2ストップバルブ	φ2	95
11	TST-400M	400		1715	φ612	1320	430	460	830	85	365	-	φ800	φ900	4-φ19	2×1 1/2プッシュ付	Rc1 1/2ストップバルブ	φ2 1/2	175
12	TST-1000M	1000		2083	φ918	1300	700	479	1090	215	-	-	φ800	φ900	4-φ23	Rp2 1/2ソケット	Rp2 1/2ソケット	φ2 1/2	450



冷凍式エアドライヤ

●プレート式熱交換器

熱交換器にプレート方式を採用。
冷媒温度が圧縮機空気に無駄なく伝わり、冷却効果を高めています。

●高耐食性

ステンレス製のプレート式熱交換器を採用、耐食性に優れたエアドライヤです。

●オゾン層を破壊しないフロンガスを採用

TADH-37F、55F：R-134a
TADH-110F　　：R407c



TADH-55F

形 式	適用機種 (kW)	処理空気量 (L/min)	使用条件			圧力下 露点 (℃)	大気圧 露点 (℃)	電源	電流 (A)	外形寸法 (mm) 幅×奥行×高さ	接続口径 (入口・出口)	概略質量 (kg)
			入口空気圧 (MPa)	入口空気 温度(℃)	周囲温度 (℃)							
TADH-37F	3.7以下	540	0.2～1.4	35	2～40	10	-17	単相100V	3.0/2.8	244×410×544	Rc1/2	26
TADH-55F	5.5	850						単相200V	1.8/1.3	269×648×554		32
TADH-110F	7.5/11	1700						三相200V	2.1/2.1	267×689×601	Rc3/4	43

注意：(1) 処理空気量は定格条件（入気圧力 0.7MPa、入気温度 35℃、周囲温度 32℃）における数値を示します。
(2) 適用コンプレッサ機種は定格条件に対するエアコンプレッサの定格出力を示します。
(3) 本機は雨の降りこまず、直射日光の当たらない場所で、風通しが良く、かつ水平な場所（傾き 5°以内）に据え付けてください。
また本機の前後左右および上方は 1m 以上のスペースを設けてください。
(4) 入気温度は 60℃以下で使用してください。
(5) AC100V 製品はプラグ付コード 1.5m、AC200V 製品にはキャプタイヤコード 3m 付きます。
(6) 静音シリーズなどで補助タンクを使用する場合は補助タンクの 2 次側に本機を設置してください。
(7) 入気温度や周囲温度が高い場合や、処理空気量が多い場合は、1 ランク上の機種を選定してください。

TOSCON オイル

TOSCONの管理には、実績ある純正**TOSCON**オイルを
ご使用ください。1L缶と4L缶があります。

容 量
1 L 缶
4 L 缶



4L 缶

注意：新品を初めて運転する場合は油が早く汚れます
ので、初期運転1週間(50時間)～1ヵ月(200
時間)までの間の早い時期に1回必ず全量交換
をしてください。(時間は積算運転時間)

時間計キット

エアコンプレッサの運転時間を表示します。
オイルメンテナンスや定期点検実施時期の目安を検討す
るのに役立ちます。

形 式	適用機種	
TOCX-143	VT105/37T,55T,75T,110T VT145/22T,37T,55T,75T,110T	50Hz 専用
TOCX-144	VT106/37T,55T,75T,110T VT146/22T,37T,55T,75T,110T	60Hz 専用

注意：(1) 取付けに際して、専門的作業を伴いますので、弊社サービス店にて
取付を行います。お客様での取付作業は行って頂けませんのでご注
意ください。オプション仕様として受注生産することも可能です。
お問合せください。
(2) 無給油式 3.7 kW以上の機種は、標準装備です。

防塵フィルタキット

多塵環境に設置せざるを得ない場合、これを取り付けるこ
とによりクランクケース開放部から塵埃が入るのを防ぎ、
圧縮機本体内部の部品を保護します。

形 式	適用機種
TOCX-944	無給油式 1.5kW
TOCX-948B	無給油式 2.2kW、3.7kW

減圧弁

推奨品 **メーカー名:日本精器(株)**

任意の圧力に減圧し、一定した圧力で
圧縮空気を供給します。

BN-3RT5

形 式	呼径	接続口径 (メネジ)	設定圧力 (MPa)	最高圧力 (MPa)	付属品	適用機種目安 (kW)
BN-3RT5	10A 15A	PT ⅓ PT ⅒	0.05～0.85	1.0	圧力計、 取付金具	(低圧) 2.2kW 以下
BN-3R01	15A	PT ⅒			—	(低圧) 5.5kW 以下
	20A	PT ⅔				(低圧) 11kW 以下
	25A	PT1				(低圧) 15kW 以下
BN-3R01H1	15A	PT ⅒	0.1～1.0	1.4	—	(中圧) 5.5kW 以下
	20A	PT ⅔				(中圧) 11kW 以下
	25A	PT1				(中圧) 15kW 以下

注意：(1) 使用温度範囲 5～60℃
(2) トスコン適用目安は、設定圧力 0.5MPa、圧力降下 0.05MPa 以内の
条件で選定しています。
(3) 流量特性など詳細仕様はお問合せください。
(4) BN-3R01 は、圧力計・取付金具はオプションとなります。



中間水分離器キット

オイルの白濁が懸念される運用や環境にてご使用される場合、
中間水分離器を取り付け、オイルの白濁の発生を抑制できます。

＜オイルの白濁の可能性がある使用方法・環境＞

- ・運転停止後、次の運転まで1時間以上停止する場合。
- ・圧縮空気を一気に大量に使用する場合。
- ・設置場所の湿度が高い場合。

注意：(1) 取付けに際して、接続管の配管作業を伴いますので、弊社サービス店にて取
付を行います。お客様での取付作業は行って頂けませんのでご注意ください。
オプション仕様として受注生産することも可能です。お問合せください。
(2) 中圧タイプ（1.4MPa）の機種は、標準装備です。
(3) 使用環境や稼働頻度によっては、中間水分離器を設置しても、白濁の発生
を完全に防ぐことができない場合があります。
その場合は設置環境および稼働頻度の検討をお願いします。

形 式	オプション 適用機種	標準装備 適用機種
TOCX-63	VT105/106-110T、 FP85/86-110T(AD 内蔵型)	VT145/146-75T,VT145/146-110T、 FP145/146-110T(AD 内蔵型)
TOCX-64	VT105/106-55T	VT145/146-55T
TOCX-65	—	VT145/146-37T
TOCX-66	VT105/106-37T	—
TOCX-67	VT105/106-75T	—
TOCX-72	—	VT145/146-22T
TOCX-73	FP85/86-75T(AD 内蔵型)	FP145/146-75T(AD 内蔵型)
TOCX-74	FP85/86-55T(AD 内蔵型)	FP145/146-55T(AD 内蔵型)
TOCX-75	—	FP145/146-37T(AD 内蔵型)
TOCX-76	FP85/86-37T(AD 内蔵型)	—
TOCX-77	—	FP145/146-22T(AD 内蔵型)

電磁式ドレントラップ

推奨品メーカー名:(株)フクハラ

エアコンプレッサのタンクにたまるドレンを自動的に排出
します。



O-2E



P1-2HE

名 称	シングルトラップ	オートエアトラップ	電子トラップ
形 式	O-2E	P1-2HE	UP155-2E
電 源	200V	200V	200V
適用機種	0.2～11kW	圧力開閉器式 0.75～11kW	圧力開閉器式 アンローダ式区別無し 0.4～15kW
作 動	電源を OFF 後、 ドレン及びエアを 全て放出	モータ始動ごとに 約1～13秒間(可変) ドレン排出	モータ始動ごとに 約3～8秒間(可変) ドレン排出 及び15分間ごとに 約3～8秒間(可変) ドレン排出

注意：100V も用意できます。

エアフィルタ

推奨品メーカー名:日本精器(株)

エアフィルタは圧縮空気中のゴミや油分を
除去し、用途に応じたエアを提供します。



NI エアフィルタシリーズ

シリーズ名	CN シリーズ セパレータ フィルタ	TN シリーズ ライン フィルタ	AN シリーズ オイル リムーバル フィルタ	UN シリーズ ウルトラ フィルタ	HN シリーズ オイルペー リムーバル フィルタ
ろ過精度 (μ m)	3	1	0.01	0.01	0.01 (活性炭)
出口空気中の 油分残留量 (PPMw/w)	5	1	0.01	0.001	0.003

接続口径	流量 (L/min)
10A (PT ⅓)	570
15A (PT ⅒)	1000
20A (PT ⅔)	2860
25A (PT1)	4860
40A (PT1⅒)	7150

注意：(1) 使用圧力は 0.14～1.72MPa です。
(2) ろ過精度の高いフィルタは目づまりを起こしやすいので、
ろ過精度の低いものから順に空気を流すようにしてください。
(3) 使用温度範囲 2～66℃
(4) HN シリーズは乾燥空気でご使用ください。
(5) ブラケットはオプションとなります。

ドレン油水分離装置

推奨品メーカー名:(株)フクハラ

エアコンプレッサに溜まるドレンを清水へ処理します。

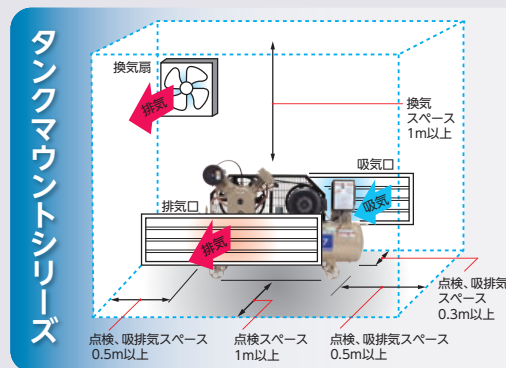
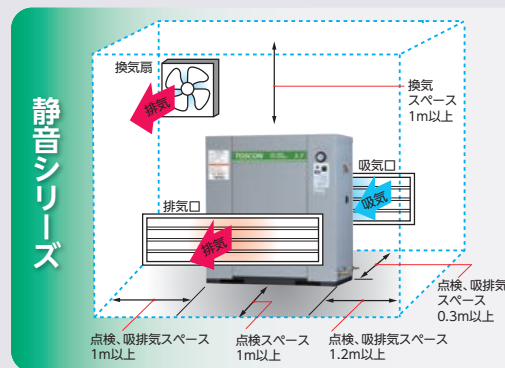
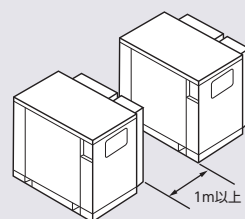


名 称	ドレンデストロイヤー		
形 式	PSD8	PSD15	PSD22
適用機種	5.5kW 以下	11kW 以下	15kW 以下
処理水の油分濃度	5ppm 以下 (n-ヘキサン抽出物質)		
処理方式	フィルター方式		
最大処理能力	5L/h		10L/h
運転方式	自然落下方式(電磁式ドレントラップによる自動運転または手動運転)		
使用温度	2～50℃ (但し、ドレンが凍結しないこと)		
最高使用圧力	1.5MPa 以下 (電磁式ドレントラップで抽出された圧力であり、槽 は大気に開放されています)		
入口・出口径	PT 1/4		
外径寸法	376×310×438	472×385×1,080	804×385×1,080
質量 (空質量)	約 6.3kg	約 17kg	約 30kg

注意：電磁式ドレントラップは付属していません。

設置場所の選定

- 屋内で明るく、広く、風通しのよい場所に設置してください。
- ゴミやほこりの少ない場所を選んでください。
- 近くに爆発性ガス、引火性ガス（アセチレン・プロパンガスなど）可燃物のない場所に設置してください。
- 基礎が水平でガタツキのないところへ設置してください。
(車輪の固定は行わないでください。固定設置が必要な場合は、静音シリーズまたは定置式(受注生産対応)をご使用ください。)
- 周囲温度は2～40℃の範囲になるようにしてください。
- 運転中に40℃を超えるような場合は換気扇を設置してください。
- 吸排気ダクトの周辺には風通りの妨げとなるものがないようにしてください。
- 温度上昇防止やメンテナンスのため下図のスペースを確保してください。
- 2～3台を並列運転する場合は、間隔を1m以上開けて設置してください。



配線時の注意

- 電圧降下は定格の2%以内としてください。
- 配線の長さは20m以内でご使用ください。

静音シリーズ			
出力 (Kw)	電源	配線容量	
		配線の最小太さ	アース線の最小太さ
0.75	三相 200V	2.0mm ²	15A
1.5		2.0mm ²	30A
2.2		2.0mm ²	40A
3.7		3.5mm ²	60A
5.5		5.5mm ²	75A
7.5		14mm ²	125A
11		14mm ²	125A

タンクマウントシリーズ			
出力 (Kw)	電源	配線容量	
		配線の最小太さ	アース線の最小太さ
0.2	三相 200V	2.0mm ²	15A
0.4		2.0mm ²	15A
0.75		2.0mm ²	15A
1.5		2.0mm ²	30A
2.2		2.0mm ²	40A
3.7		3.5mm ²	60A
5.5		5.5mm ²	75A
7.5		14mm ²	125A
11		14mm ²	125A

TOSCONの上手な使い方

理想的な設置場所



TOSCONメンテナンスの4要素

① オイルの点検 (毎日)

給油式のみ

過不足は重大事故のもと

● TOSCONオイル
× エンジンオイル
× マシンオイル

適正油量範囲

全量交換は6ヶ月毎
(初期運転は1週間(50時間)～1ヵ月(200時間)までの間の早い時期に必ず交換)※時間は積算運転時間

② ドレン排出 (毎日)

作業終了後必ず行う

抜き取ったドレンは、産業廃棄物として処理してください。

自動に排出する方法として、電磁式ドレントラップなどの関連機器もあります。

③ フィルタの清掃

(1ヶ月または、200時間運転ごと)

エア吹きしてください。汚れが落ちない場合また汚れがひどい場合は新品に交換してください。塵あいのある場所では小まめに交換するなど対応ください。

④ コンデンサフィンの清掃

(3ヶ月または、600時間運転ごと) 静音シリーズ

コンデンサ及びコンデンサフィンに付着したゴミやホコリはエア吹きなどにより清掃してください。※環境によりゴミやホコリが多い場所では点検サイクルを短くしてください。

関連法規

1. [ボイラ及び压力容器安全規則]- 労働省 (昭和 47 年第 33 号)
エアコンプレッサに使用している空気タンクは、省令第 4 章 第二種压力容器の適用を受けます。

対 象	0.2MPa 以上かつ 40L 以上のタンク (又は 0.2MPa 以上で内径 200mm 以上で目付長さが 1000mm 以上のタンク)
該 当 品	静音シリーズ:FP 形・FLP 形 (5.5～11kW) タンクマウントシリーズ:VT 形 (1.5～11kW) VLT 形 (0.75～11kW)
ユーザーの処置	○1 年 1 回以上定期的にタンクの自主検査を実施し、その検査記録を 3 年間保持すること。 ○タンクの事故が発生したら所轄労働基準監督署に届ける。 ○压力容器明細書を紛失したら、再度立会試験を受けなければならない。 ○平成 2 年 9 月より第二種压力容器設置届出の義務は無くなりました。

2. 騒音規制法 - 昭和 43 年法第 98 号、振動規制法 - 昭和 51 年法第 64 号
環境基本法に基づく個々の公害規制の一つで、具体的な細目の施行及び規制は都道府県条例によります。

対 象	原動機(モータ)の定格出力 7.5kW 以上の空気圧縮機を設置する場合 (注意) 規制範囲・規制基準値などは、各都道府県条例により異なります。
ユーザーの処置	指定地域内に該当機種を設置しようとする場合は、設置する 30 日前までに市町村役場に届出許可を受けなければなりません。また出力にかかわらず敷地境界線で騒音、振動の設置地域の規制値を超えてはいけません。

3. フロン排出抑制法 (フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律)
フロン排出抑制法が、令和 2 年 4 月 1 日に改正施工されました。本改正においては罰則が新たに追加されています。

対 象	静音シリーズ冷凍式エアドライヤ内蔵型 (FP 形・FLP 形) 別置型冷凍式エアドライヤ
ユーザーの処置 (実施義務)	定期点検の実施と記録の保管、フロン類の漏えいが確認されたら速やかに第一種フロン類回収業者に修繕を依頼することが義務付けられています。製品を廃棄する場合は廃棄前にフロン回収行程票を記入し、フロン類の回収を第一種フロン類回収業者に依頼しフロン類引取証明書を取得・保管します。廃棄物・リサイクル処理業者へ処分を依頼する際に引取証明書の写しを提示することが必要です。

- 点検の義務●
冷凍式エアドライヤ内蔵型コンプレッサ及び別置型エアドライヤは、第一種特定製品に該当します。このため下表のような点検が法律で義務付けられています。

点検の種類	簡易点検
点検の頻度	三ヶ月に一回以上
点検の方法	目視による
点検の記録	点検結果を記録し、その記録は製品の譲渡又は廃棄まで保管する。フロン類引取後、三年間は記録を保管する。
異常な音、振動	冷凍機コンプレッサやファンからの異常な音、振動がないか？
破損、錆、腐食	冷凍式エアドライヤ各部に破損や腐食がないか？見えづらい場合は懐中電灯などを使って確実に実施してください。
油じみ	冷凍回路からの油じみは、冷媒の漏れが原因である可能性があります。
霜の付着	普段付いていないところに霜が付いている場合、冷媒の充填量が減れなどにより減っている可能性があります。

- 法の概要●
オゾン層の保護及び地球温暖化の防止のために、第一種特定製品 (業務用冷凍空調機器) に使用されているフロン類の使用の合理化及び管理の適正化を目的とし、第一種特定製品を使用する第一種特定製品の管理者には定期点検の実施、フロン類の漏洩が確認されたときには速やかに第一種フロン類回収業者へ修繕を依頼することを義務付けています。また各種証明書の取得・保管・提示も義務付けられています。

- 第一種特定製品とは●
業務用の機器であって、冷媒としてフロン類が充填されているものです。弊社のエアコンプレッサの内蔵型及び別置型冷凍式エアドライヤは、冷媒としてフロンガスが充填されているため、これに該当します。製品の廃棄あるいは整備・修理時等においては、回収破壊処理における其々の義務を順守してください。

- 第一種特定製品の管理者とは●
当該製品の所有者が管理者となります。例外として、契約書等の書面において当該製品の保守・修繕の責務を負う者が管理者となります。尚、当該製品の管理義務を委託している場合は、当該委託を行った者が管理者に当たります。

空気量の計算方法

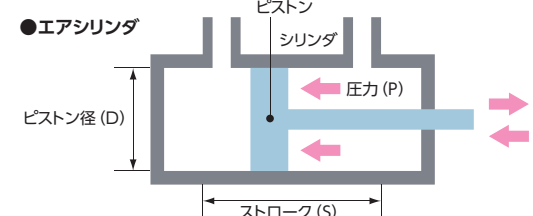
エアシリンダの消費空気量

エアシリンダは、工作機械、自動包装機、自動化ラインなどに多く使用されています。
エアシリンダの消費空気量は次式によって求められます。

$$Q(L/min) = \frac{2}{1000} \times \frac{\pi}{4} \times D^2 \times S \times \left(\frac{P+0.10}{0.10} \right) \times n \times N \times 1.1 \sim 1.3 \quad (\text{余裕})$$

D : ピストン径 (cm)
S : ストローク (cm)
P : 使用圧力 (MPa) ※大気圧は、0.10MPa として計算します。
n : 1 分間の動作回数 (1 往復を 1 回として数える)
N : シリンダ本数

注意：係数「2」は、1 サイクル (1 往復) に 2 動作 (往、復) する為、また「1000」は 1L=1000 cm³ の換算です。



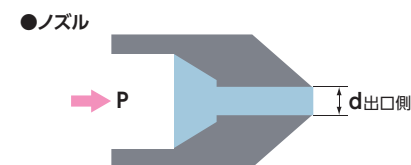
ノズルの消費空気量

ノズルを使用し、圧縮空気の噴出力を利用した用途としてはエアガン (塵埃、切粉の吹き飛ばしなど)、スプレーガン (塗装)、農事用 (ねぎの皮むき、農機具の清掃) 等があります。
ノズルの消費空気量は、次式によって概略求められます。

$$Q(L/min) = 7.6d^2 \left(\frac{P+0.10}{0.10} \right) n \times 1.1 \sim 1.3 \quad (\text{余裕})$$

D : ノズル最小径 (mm)
n : ノズル数
P : 使用圧力 (MPa) ※大気圧は、0.10MPa として計算します。

例：φ1.0 ノズル 5 個を 0.35MPa にて使用する場合
Q=7.6×1.0² × (0.35+0.10/0.10) × 5×1.1～1.3
=189～224L/min
したがって、2.2kW 機種を選定します。





拠点一覧はこちら

<https://www.toshiba-tips.co.jp/outline/location/>



本社 044-520-0390
三重事業所 059-376-6000
東日本支社 048-631-1048
北海道支店 011-624-1188
東北支店 022-296-2266
群馬支店 027-386-6034
新潟営業所 025-241-1418
栃木支店 050-3066-7290
埼玉支店 048-631-1048

首都圏支社 044-520-0876
西東京支店 042-522-1661
中部支社 050-3191-0670
北陸支店 076-432-7121
福井営業所 0776-24-3330
静岡支店 055-922-8926
浜松営業所 053-458-1048
信州支店 0263-35-5021

関西支社 06-6130-2285
京都支店 075-353-6021
姫路支店 079-226-0222
中国支店 082-263--325
福山支店 084-999-5177
四国支店 087-811-5883
九州支社 092-735-3512
鹿児島支店 099-296-9681



お問い合わせページ

<https://www.toshiba-tips.co.jp/support/>



サービス拠点一覧はこちら

<https://www.toshiba-tips.co.jp/services/customer/>



北海道・関東・関信越地区サービス担当 044-520-0819
東北地区サービス担当 022-292-2422
東海・北陸地区サービス担当 050-3191-0675
関西地区サービス担当 06-6130-2291
中四国地区サービス担当 084-999-5178
九州地区サービス担当 092-735-3522

【製造元】

ANEST IWATA Corporation

※製造元への製品問合せ、保守・サービスの引き受けは致しておりませんので、お買い上げの東芝産業機器システム(株)の営業拠点および製品取扱店、またはサービス窓口までご連絡をお願い致します。



安全上のご注意

- お求めのコンプレッサは空気圧縮機です。空気以外の気体を圧縮しないでください。空気以外の気体を圧縮すると、爆発事故や火災、破損の原因となります。
- コンプレッサの故障や誤動作が直接人命を脅かしたり、人体に危害をおよぼす恐れのある装置（圧縮空気を直接吸引する呼吸器系の装置等）に本コンプレッサを使用しないでください。人体に重大な損害を与える原因となります。
- 吐出空気及びドレンには、大気中の水分やゴミ、錆などが含まれます。人命を脅かしたり、人体に重大な損害を与える原因となりますので、人体や動植物に向けて使用しないでください。
- 本製品は屋内専用です。雨や蒸気などの水分のかかる場所では使用しないでください。火災、感電、寿命低下の原因となります。
- 本製品の改造及び設定値変更は行わないでください。破損、重大事故の原因となります。
- 保守点検を怠ると機器の損傷となる恐れがあります。取扱説明書に従って、定期的に保守点検を実施してください。
- ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。使い方を誤ると発火事故、感電など重大事故を起す原因となります。
- 本製品は日本国内用です。日本国外でのご使用の場合、弊社へご相談ください。
- 圧縮機の吐出空気中には、大気中の塵埃、各種ガス及びピストンリングの摩耗粉、空気タンクの鉄錆・水滴などが含まれています。

- 給油式コンプレッサの吐出空気中には油分が含まれていますので設備の重要度に応じて油分除去装置（エアフィルタ等）を設けてください。
- 無給油式コンプレッサには潤滑油を使用しませんので、吐出空気中及び排出ドレン中に油分は原則としてありませんが、大気中の油分、製造時の部品付着油分など微量ですが油分が含まれます。
- 空気タンク内のドレンには鉄錆が含まれますのでドレンは毎日排出してください。錆が蓄積すると、ドレン配管が詰まる原因となります。
- 重要設備に使用される場合、用途によって、この機器についている保護装置の作動によるコンプレッサの停止や故障に備え、予備機やそれに替わる装置をご用意ください。
- 近くに爆発性・引火性ガス（アセチレン・プロパンなど）・有機溶剤・爆発性粉塵および火気のない場所でご使用してください。爆発事故・火災の原因となります。
- アンモニア、酸、塩分、亜硫酸ガスなどの腐食性ガスのある場所で使用しないでください。発錆、寿命低下、破損の原因となります。
- 圧縮機本体は防塵仕様ではありませんので、セメント・砂・ほこりなど塵埃の多い場所では使用しないでください。寿命低下、破損の原因となります。
- 起動頻度が多い場合（1時間に10回以上）は、補助タンクを設置してください。
- 本製品の保証・免責事項に関しましては、「取扱説明書」にてご確認ください。

【販売元】

東芝産業機器システム株式会社

モータドライブ事業部

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

<https://www.toshiba-tips.co.jp/>



取扱店